

人権教育広報

ふれあい

編集・発行 桶川市人権教育推進協議会



第18号



桶川市立桶川西小学校 1年 よこた横田 みこと美琴

人権標語優秀作品

【小学校の部】

その悩み だれかに話して 半分こ
 悪口は 言ったらぬけない 言葉の矢
 うれしいな みんなと会える 毎日が
 マスクでも えがおでつたわる ありがとう
 やさしさを あなたの勇気で まいていこう
 ごめんなさい 先にあやまる その勇気
 ありがとう その言葉が あたたかい

- 桶川西小学校 6年 はぎわら萩原 かのん佳音●
- 加納小学校 5年 まつぶら松渕 とむ飛羽●
- 川田谷小学校 3年 たかはし高橋 たくと拓人●
- 桶川東小学校 3年 しろいし白石 ゆう優●
- 日出谷小学校 5年 ながしま長島 みおん海音●
- 朝日小学校 4年 けんもち剣持 さらさ更紗●
- 桶川小学校 4年 おきつ沖津 かいり海吏●

【中学校の部】

“その”言葉 スマホを通さず 言えますか
 個性の実 ひとつひとつが オンリーワン
 ふみ出そう 見て見ぬふりより 守れる人へ
 人と人 手と手つなげば 重なる心

- 桶川中学校 1年 おおの大野 ゆめか夢佳●
- 桶川東中学校 1年 なかざわ中澤 なつこ夏子●
- 桶川西中学校 3年 いしづか石塚 ひな陽菜●
- 加納中学校 2年 かとう加藤 まなほ愛歩●



異学年交流で豊かな体験

桶川西小学校

本校では、「差別の不合理に気づき、人権尊重の精神を培い、生活の中にある偏見や差別をなくしていく態度を育てる」を人権教育目標に掲げ、全ての教育活動を通じて人権教育を推進しています。

また、学校課題研究として「考える力」を身に付けた子供の育成」をテーマにし、自らの思いや考えを持つことを大切にされた教育活動を進めています。さまざまな体験活動を通じて、学校・家庭・地域が一体となった人権教育に取り組んでいます。

十一月二十四日、二十五日、三十日に「西っ子フェスティバル」が行われ、一年生から六年生までのなかよし班で考えた遊びを楽しみました。



本校では、「差別の不合理に気づき、人権尊重の精神を培い、生活の中にある偏見や差別をなくしていく態度を育てる」を人権教育目標に掲げ、全ての教育活動を通じて人権教育を推進しています。

また、学校課題研究として「考える力」を身に付けた子供の育成」をテーマにし、自らの思いや考えを持つことを大切にされた教育活動を進めています。さまざまな体験活動を通じて、学校・家庭・地域が一体となった人権教育に取り組んでいます。

高学年の児童が中心となって遊びの計画を立てて、準備を進めました。当日は、輪投げやボウリング、占い、段ボール積み、つかみ取りなど、アイデアいっぱいのさまざまな遊びを通して交流し、楽しみました。お店番の役割を担当したり、遊びに出かけたりするのも、異学年でグループを作り活動しながら、高学年の児童が低学年の児童を気遣いながら、さまざまな遊びを体験することができました。

児童は多くの交流をすることにより、ふれあいを深め、友達との仲間意識を高めることができました。



本校では、学校教育目標「志をもち 自ら学ぶ健康でたくましい生徒」の具現化を目指し、人権教育においても「1 人権意識を高める 2 人権に関する正しい理解を深める 3 様々な人権課題を解決しようとする態度を育てる」を目標に、全教育活動を通してその実現に取り組んでいます。

具体的実践として、人権感覚の高揚を道徳の授業での基盤としています。また、人権作文と人権標語に取り組みました。何気なく過ごしている学校生活を振り返ることができるよい機会となり、多くの生徒が「人権とは何か」を考え、「一人一人が持っている人権を守るためにはどうすればよいか」という意識を高めました。

地域の方や家族とのふれあいの中で感じたこと、コロナ禍で感じたことを作文にする生徒もあり、

本校では、学校教育目標「志をもち 自ら学ぶ健康でたくましい生徒」の具現化を目指し、人権教育においても「1 人権意識を高める 2 人権に関する正しい理解を深める 3 様々な人権課題を解決しようとする態度を育てる」を目標に、全教育活動を通してその実現に取り組んでいます。

具体的実践として、人権感覚の高揚を道徳の授業での基盤としています。また、人権作文と人権標語に取り組みました。何気なく過ごしている学校生活を振り返ることができるよい機会となり、多くの生徒が「人権とは何か」を考え、「一人一人が持っている人権を守るためにはどうすればよいか」という意識を高めました。



全教育活動を通じた人権教育の推進

川田谷小学校

本校では、人権教育目標として「人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育成する」ことを掲げ、教育活動全体を通じて児童・教職員の人権意識を高める取組を行っています。

学校生活の中では、毎月「川小じんの日」を設定し、児童一人一人に学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見を目指しています。その他にも、人権メッセージや人権作文、人権標語への取組を通して、豊かな人権感覚の育成を図っています。

また、学校経営方針である、「明るいあいさつが交わされ、お互いを尊重し合える学校」を目指し、日々、教育活動に取り組んでいます。児童のよさを見つけ、褒め、励まし、伸ばす積極

的な生徒指導や道徳、特別活動等すべての教育活動を通じて、差別やいじめを許さない心と態度を育てています。

今年度は、感染症予防対策のために、限られた時間の中で授業を行ったり、行事が中止になったりと今までのように活動できない場面が多くありました。その中で、「川田谷っ子三つの新しい学校生活」として、「①マスクをします ②せっけんの手を洗います ③友だちにやさしくします」の三点を掲げました。「友だちにやさしくします」は、相手の立場や状況を考え、思いやりをもって過ごしてほしいという願いが込められています。

今後も、学校・家庭・地域が、一体となって人権教育を推進し、児童一人一人の人権感覚の育成を図っていきたいと思います。



本校では、学校教育目標「学ぼう未来へ、育てよう心と体」を具現化するため、人権教育の目標「①一人ひとりの人権を尊重する能力、態度、実践力を養う。②相手の立場を考え、共に学び合える正しい理解と認識を育てる。」を設定して人権教育を推進しています。

本年度は、人権作文や標語作成を全校で取り組みました。そして、生徒会の発案で九州集中豪雨災害に対する募金活動を実施し、多額の募金が集まり、被災地に送ることができました。

一方、新型コロナウイルスウィルス感染症予防の観点から、例年行っている活動が難しい状況があります。そこで、新しい取組として図書室に人権図

本校では、学校教育目標「志をもち 自ら学ぶ健康でたくましい生徒」の具現化を目指し、人権教育においても「1 人権意識を高める 2 人権に関する正しい理解を深める 3 様々な人権課題を解決しようとする態度を育てる」を目標に、全教育活動を通してその実現に取り組んでいます。

具体的実践として、人権感覚の高揚を道徳の授業での基盤としています。また、人権作文と人権標語に取り組みました。何気なく過ごしている学校生活を振り返ることができるよい機会となり、多くの生徒が「人権とは何か」を考え、「一人一人が持っている人権を守るためにはどうすればよいか」という意識を高めました。



本校では、学校教育目標「学ぼう未来へ、育てよう心と体」を具現化するため、人権教育の目標「①一人ひとりの人権を尊重する能力、態度、実践力を養う。②相手の立場を考え、共に学び合える正しい理解と認識を育てる。」を設定して人権教育を推進しています。

本年度は、人権作文や標語作成を全校で取り組みました。そして、生徒会の発案で九州集中豪雨災害に対する募金活動を実施し、多額の募金が集まり、被災地に送ることができました。

一方、新型コロナウイルスウィルス感染症予防の観点から、例年行っている活動が難しい状況があります。そこで、新しい取組として図書室に人権図

これからの活動から、生徒に「周りに対する思いやりの気持ち」や「気づく力」をはぐくんできたいと考えています。学校教育活動全体を通して、さまざまな取組をしています。今後も活動とともに、取組の振り返りや見直しを図り、より一層人権意識の向上に努めていきます。

「生徒一人一人が活躍し認め合う活動」
桶川西中学校

思いやりと気づく力をはぐくむ活動
桶川中学校



本校では、学校教育目標の「豊かな人間性と自ら学ぶ意欲をもってたくましく生きる児童を育成する」を受け、人権教育目標を「人間尊重に徹し、人間尊重の高揚を図り、人権に対する正しい知識と理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育てる」として、全ての教育活動を通じて人権教育に取り組んでいます。

学校課題研究においては、特別活動で「お互いの思いを認め合い、自信をもって表現する朝日っ子」を目指しています。「自信をもって自分を表現することができる児童」「友だちの意見を大事にする児童」「友だちと積極的に関わることでできる児童」の育成のために、特別活動の工夫・改善に取り組んでいます。



今年度の十一月の縦割り班活動では、例年校内で行われている「あさひっ子まつり」ではなく、新型コロナウイルス感染症防止対応により、校庭で「あさひっ子クイズ大会」を行いました。初めて行われる行事でしたが、児童会が中心となってクイズ大会を企画・運営し、他学年の児童と仲を深めることができました。

夏季教職員研修では、教職員の人権意識、人権感覚の向上をねらいとし、人権感覚育成プログラムについて理解を深めました。

今後も、教職員

の

人権意識と指導

力の向上を図ると

ともに、さまざま

な活動を通して、

児童の自他を思い

やる心の育成に努

めていきます。



本校では、「明日をつくる 日出谷の子」を学校教育目標と定め、人権を尊重する豊かな心を育成しています。今年度は新型コロナウイルス感染症への予防措置として、多くの行事が行われませんでした。その中でいくつか行われた取組を紹介いたします。

○「あいさつ運動」〜心通わせて
各学級一日ずつ交代で、児童会の代表委員とともに校門から昇降口の間の通路に立ち、あいさつ運動をしています。

○「ふれあいタイム」〜心でふれあう
一年生から六年生までを均等に分けてグループをつくり、昼休みにいっしょに遊ぶ活動を行っています。その流れの延長線上に「日出谷フェスティバル」があり、そのグループで協力して遊びのお店を出したり、他のグループの店を回ったりしながら、他学年の児童と仲を深めています。今年度は、感染症拡大防止のため、保護者や地域の方の参観が叶いませんでしたが、違う学年の子と関わることで、互いに思いやり、感謝の気持ちをもつことができました。



人権教育DVDの紹介

【おじやる丸】
ちっちゃいものの大きなちから
おじやる丸と電ボが神社近くの道を通りかかったときのこと。「ちっちゃいものクラブ」の面々が、ちっちゃいものならではの苦労話をしています。おじやる丸も話に参加していると、ちいさな水たまりから助けを呼ぶ声が聞こえて…。



【小学生のスマホの安全な使い方教室】
危険な目にあわないために
公園でスマホを楽しんでいる「そうた」と「ゆい」。「はるか先生」が二人を見つけ何度か呼びかけますが、全く気づきません。どうやらスマホのゲームに夢中なのでしょう。



ゲームも間違っって使うと、大変なことが起こります。ゲームアプリの課金、ワンクリック詐欺、スマホ依存の危険とその対策について描いています。

本校では、学校全体で人権教育に取り組んでいます。校舎には、校是「汝の根に注意を集めよ」の壁画が描かれています。生徒自身が根を伸ばし、自ら成長していく力が大切であるという教育の基本理念を表わしたものです。「高校三年間は豊かな人生を送るための、しっかりととした強い根を育てる時」という強い思いを込めています。

本年度は、文化祭や修学旅行などの行事が中止になるといった異例の事態になりました。新型コロナウイルス感染症の「三つの顔」について正しく理解し、偏見や差別を遠ざけ、穏やかな気持ちで、病気そのものだけを正しく怖がり、ウィズコロナ時代を過ごすよう生徒たちに伝えていきます。

人権教育講演会では、ドキュメンタリー・アニメ「めぐみ」を視聴し、北朝鮮による日本人拉致問題について、その関心と認識を深めます。家族が深い絆で結ばれることを考え、

家族の幸せを求めて、進んで役に立とうとする態度を育みます。人権課題としての拉致問題に触れるとともに、その内容を話し合っ、子を思う親の心の痛みや叫びを学ぶことで、家族との関わりについての思いを培います。

また、例えば科学部がハートフル桶西水族館の管理運営を通して地域と連携した活動を行う、放送部が地域行事に参加するなど、ボランティア活動を通して、コミュニケーション能力を育んでいます。



人権作文

車いすのおばあちゃん

小学校二年

わたしには、車いすにのっているおばあちゃんがあります。お母さんは、おばあちゃんのおせわで、毎日たいへんです。

わたしは、おばあちゃんとお話をしたいと思いました。でも、おばあちゃんは耳が聞こえづらいので、なかなかいっしょに話すことがむずかしいです。

でも、おばあちゃんの耳もといっしょに話しているお姉ちゃんを見て、わたしもまねをしてみま

した。そうしたら、だんだん楽しくなってきました。わたしは、おばあちゃんの耳もとで、

「ぐあい、だいじょうぶ。」

と小さな声で聞きました。すると、おばあちゃんは、

「うん、よくなってきたよ。」

とえがおで、こたえてくれました。わたしはとてもうれしかったです。わたしはともうれしかったです。

耳が聞こえづらくても、耳もとでささやいてあげると、話せました。そうすると、おばあちゃんももっとなかよくなれることがわかりました。

耳や足がふじゆうな人にも、あいつの体や気もちをわかってあげ

て、くふうしてたすけてあげると、わたしもあい手もうれしくなることもわかりました。

いろいろなしょうがいをもって
いる人に会ったら、だいじょうぶ
ですか、手つだいでしょうか、と
声をかけてあげたいです。これか
ら、おばあちゃんとたくさんお
話をして、なかよしでいたいです。



みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

編集後記

様々な人権課題の解決のために、私たち一人一人が人権感覚を磨き、自らの課題として受け止め、日々の実践に向けて努力していきましょう。

桶川市教育委員会生涯学習文化財課
〒363-8501 桶川市泉1丁目3番28号
TEL 048-788-4970(直通)